



タバコの害について

●タバコの三大有害物質

ニコチン：末梢血管の収縮を引き起こすための歯周組織の血流が悪化する。
タール：発がん物質
一酸化炭素：ヘモグロビンと結合して酸素欠乏を起こす。



●喫煙と口腔疾患、症状

ニコチンの血管収縮作用と一酸化炭素の血液内酸素運搬能阻害作用のため
血流悪化・唾液分泌低下が起こるため歯周病は悪化しやすい。
口腔がん、白板症、タバコ色素沈着、う蝕、口臭などの症状が発症しやすくなる。

●喫煙と全身疾患

がん、虚血性心疾患（狭心症・心筋梗塞）、慢性閉鎖性肺疾患
（肺気腫・慢性気管支炎）、胃・十二指腸潰瘍などの発症や
症状の助長

●喫煙の死亡率（非喫煙者と比較）

咽喉がん：32.5倍、肺がん：4.5倍、肝臓がん：3.1倍
口腔・咽喉がん：3.0倍、食道がん：2.2倍、肺気腫：2.2倍など

●喫煙と妊産婦

ニコチンや一酸化炭素による胎児胎盤系の低酸素状態などによる
妊娠合併症、
周産期死亡、流産、早産、低体重児出生、
先天奇形などがある

●受動喫煙とは

喫煙者のタバコの煙を吸い込むこと
肺がん、呼吸器、循環器、歯周病、
歯肉メラニン色素沈着などに影響あり



お口がさびしく
なったら

吸ってなくても

